

事 務 連 絡  
令和 5 年 7 月 5 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課 御中  
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務担当課  
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた  
各地方公共団体の学校設置会社事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

### 「教員向け法教育セミナー」開催の周知について

日頃より、法教育に関する施策につきまして、ご理解・ご協力いただき誠に有り難うございます。

法教育については、成年年齢及び裁判員対象年齢の引下げや今般の学習指導要領の実施に伴い、近年その必要性がますます高まっています。このため、法務省において、学校現場における法教育がより充実したものとなるよう、学校現場と法律実務家との連携に焦点を当てた「教員向け法教育セミナー」を、本年 8 月 18 日（金）に開催しますのでご案内いたします。（なお、本セミナーは令和元年度より実施されてきましたが、より多くの教員の方々にご参加いただけますよう、今年度よりご案内することといたしました。）

本セミナーでは、刑事裁判手続を模擬的に体験できる法教育教材（詳細は別紙参照）を使用した学校教員による法教育授業の実践報告や、法曹実務家を交えた意見交換会などを実施する予定です。

つきましては、都道府県教育委員会指導事務主管課におかれては、所管の学校及び各学校を設置する域内の市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会指導事務主管課におかれては、所管の学校に対し、都道府県私立学校主管課及び構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社事務主管課におかれては、所轄の学校及び学校法人等に対し、附属学校を置く国公立大学法人附属学校事務担当課におかれては、管下の附属学校に対し、本セミナーについて、周知くださいますようお願いいたします。その際、働き方改革の観点から、周知の方法については、例えば、他の案件とまとめて周知する、教育委員会主催の教員研修の場で配付する等、必要に応じてご判断いただきますようお願い申し上げます。

なお、本セミナーに係るご質問については、別紙記載の法務省の担当へお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

#### 【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
企画調査係  
〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2  
TEL：03-5253-4111（内線 2565）  
FAX：03-6734-3734

法務省司第292号

令和5年7月4日

文部科学省初等中等教育局教育課程課長 殿

法務省大臣官房司法法制部司法法制課長

( 公 印 省 略 )

「教員向け法教育セミナー」開催の周知について（依頼）

平素から、法教育に関する施策につきまして、格別の御理解と御高配を賜り、誠にありがとうございます。

当省では、法律専門家ではない一般の方々が、法や司法制度、これらの基礎になっている価値を理解し、法的なものの考え方を身に付けるための教育である法教育を推進するための取組を行っています。

法教育については、成年年齢及び裁判員対象年齢の引下げや今般の学習指導要領の実施に伴い、近年その必要性がますます高まっているところです。このため、当省では、学校現場における法教育がより充実したものとなるよう、学校現場と法律実務家との連携に焦点を当てた「教員向け法教育セミナー」を本年8月18日（金）に開催いたします。

今年度のセミナーでは、刑事裁判手続を模擬的に体験できる法教育教材（「もぎさい」法教育教材）を使用した学校教員による法教育授業の実践報告や、法曹実務家を交えた意見交換会などを実施する予定です。

「教員向け法教育セミナー」は令和元年度から実施しているところ、本セミナーの趣旨を踏まえ、多数の教員の方々に御参加いただけますよう、貴省におかれましては、各都道府県教育委員会等並びに各都道府県教育委員会等を通じた所管・所轄の学校等に対し、本件について周知いただきたく、お願い申し上げます。

本セミナーは事前申込制となっており、会場での御参加又は後日に配信され

るオンデマンド配信を選択できます。詳細については、別添チラシの電子データを当省ホームページに掲載しております。

また、本セミナーの法教育授業実践報告に使用される「もぎさい」法教育教材は、学校現場において刑事裁判手続を模擬的に体験できるものであり、小学校・中学校・高等学校の各発達段階に対応した視聴覚教材です（詳細は別添「「もぎさい」法教育教材」を御参照ください）。「もぎさい」法教育教材は、当省ホームページで公開しておりますので、併せて周知いたされたく、お願い申し上げます。

#### 【連絡先】

法務省大臣官房司法法制部司法法制課司法制度第二係

電 話：03-3580-4111（代表）内線 2362

E-mail：houkyouiku@i.moj.go.jp

#### 【参考】

- 教員向け法教育セミナーに関するページはこちら

[https://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/seminar\\_00005.html](https://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/seminar_00005.html)



- 「もぎさい」法教育教材に関するページはこちら

[https://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/houkyouiku\\_mogisaiban.html](https://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/houkyouiku_mogisaiban.html)



法務省  
主催

# 教員向け 法教育セミナー

～裁判員対象年齢の引下げと法教育の実践について～

昨年4月の裁判員対象年齢や成年年齢の引下げを受けて、法的なものの考え方を身に付ける法教育の必要性はますます高まっています。

本セミナーでは、現役の教員を講師に招いて、実際に法律実務家と連携して実施した小・中・高における法教育授業を紹介するなど、法教育をより手軽かつ効果的に取り入れていただくための具体的な実践方法をご紹介します！



法教育マスコットキャラクター  
「ホウリス君」

日時

2023年8月18日(金)

13:00～17:00 (12:30開場)

場所

法務省大会議室

東京メトロ「桜田門」駅または  
「霞ヶ関」駅から徒歩5分程度

参加  
対象者

小学校・中学校・高等学校教員

参加費：無料（事前申込制）

※対象者以外の方でも御参加いただけます。

定員

100名程度

※申込者多数の場合には、会場での  
参加をお断りする場合があります。

配信

後日、オンデマンド配信を行います。

※事前申込みいただいた方に限ります。

後援  
(予定)

文部科学省 最高裁判所 最高検察庁 東京都教育委員会

日本弁護士連合会 日本司法書士会連合会 日本司法支援センター

## 第1部

13:00～ 開会挨拶

13:05～ 基調講演

「(仮) 学校における刑事法学習の意義と具体」

埼玉大学教育学部(社会講座)准教授 小貫 篤 氏

「授業で刑事裁判手続を取り扱う際のポイントー法学研究者の視点から」

東京大学大学院法学政治学研究科准教授 成瀬 剛 氏

13:45～ 関係機関における出前授業等の説明

法務省、検察庁、裁判所、弁護士会における法教育の取組や出前授業等の依頼方法について説明を行います。

14:00～ 休憩・移動

## 第2部

14:20～ 分科会(選択制)

法務省が作成した模擬裁判教材を使って実施いただいた小・中・高等学校における授業について、担当教員の方々から実際の授業の内容や進め方について報告いただきます。

※各授業を支援した法律実務家(裁判官、検察官、弁護士)も参加します。

小学校

小金井市立南小学校主任教諭

木村 法子 氏

中学校

立川市立立川第三中学校教諭

三枝 悠平 氏

高等学校

茨城県立並木中等教育学校教諭

石本 由布子 氏

15:20～ 休憩・移動

## 第3部

15:45～ 意見交換会(グループワーク)

学校現場における法教育の実践などに関するテーマについて、小グループに分かれて意見交換を行います。

※グループワークには、分科会講師や法律実務家、法務省職員も参加します。

16:45 閉会

## お申込みについて

開場参加及びオンデマンド配信の視聴のいずれについても、**事前のお申込み**が必要となります。

詳細については、法務省HPを御参照下さい。



[https://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/seminar\\_00005.html](https://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/seminar_00005.html)

## 法務省作成の教材について

法務省では、小・中・高等学校の各学習指導要領に則して御使用いただける各種の**法教育教材**を作成し、**学習指導案や授業用のワークシート**等と併せて公開しています。

小学校



中学校



高等学校



模擬裁判用



お問合せ先

法務省大臣官房司法法制部 司法法制課 司法制度第二係

TEL 03-3580-4111 (内線2362)

Email houkyouiku\_gyoumu@i.moj.go.jp



# 「もぎさい」法教育教材

## 教材の紹介



本教材は、児童・生徒が動画を視聴して刑事裁判手続を模擬的に体験し、証拠に基づいて被告人が有罪であるかどうかについて考えることができるものとなっています。

学校現場において模擬裁判授業を手軽に実施していただけるよう、動画のほか補助資料として、本教材の学習指導要領上の位置付けや学習効果、授業例などを記載した教員用説明資料等を準備しておりますので、是非御活用ください！

## 教材の内容

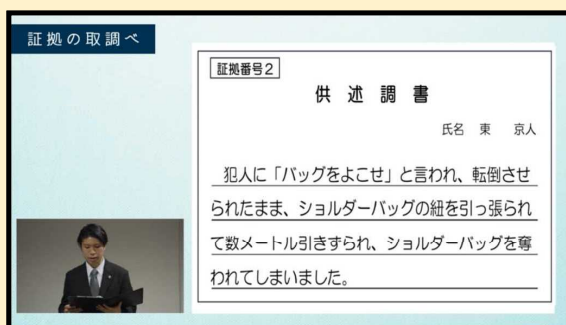


視聴覚教材（動画）、補助資料等（教員用説明資料、学習指導案、ワークシート、教材シナリオ、証拠書類、スライド資料用データ）



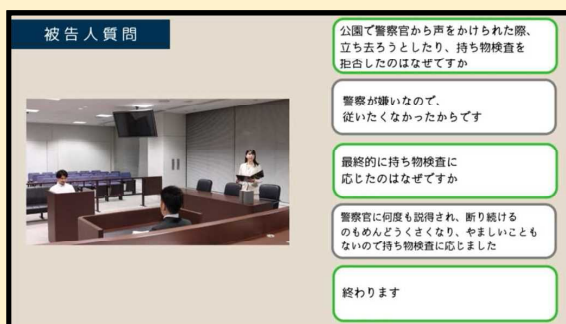
### 小学生向け

駐車場で被害者の車のドアをカナヅチで何度も叩き、傷を付けて壊した器物損壊の事案



### 中学生向け

道路上を歩いていた被害者に暴行を加え、ショルダーバッグを奪い取って、被害者に傷害を負わせた強盗致傷の事案



### 高校生向け

道路上を歩いていた被害者に暴行を加え、手提げバッグを奪い取って、被害者に傷害を負わせた強盗致傷の事案



「もぎさい」法教育教材はこちらのQRコードを御参照ください →

